



SDGs for School
produced by Think the Earth



前回に引き続き、8月24日に開催された「SDGs for School x 曹洞禅サマイベント」について、メンバーや参加者の感想をお伝えします。新たに行動を起こし、次の字びやアクションへつなげて行くという前向きな言葉や想いが多数寄せられました。



○るーな
・新潟県
・中学3年生

布ナフキンを海外へ寄付しているShihoさんの話からは、地域や宗教など多様な世界だからこ



○のは
・東京都
・中学2年生

今回イベントを企画してみて、「何を伝えたいのか」「どのように工夫すれば楽しくなるか」など工夫しなければいけない点が沢山

ありました。そして、私が今まで参加したイベントの一つ一つにも作った人の思いや工夫が詰まっているのだと改めて感じました。今後はもっと一つ一つを大事に参加していきたいと思いました。イベント中に前田さんとShihoさんがお話してくれた内容は初めて聞くことがあり、とても勉強になりました。私が考えていた「SDGs」は、ほんの一部の分野に過ぎないのだと改めて感じました。

「100スクール」などで新しい情報を発信するためにも、自分の学びのために、今後今回のようなイベントにも沢山参加し、自分のSDGsの辞書を増やしていきたいと思っています！



○はるか
・東京都
・高校2年生

自分かどのような考えで活動しているのか、「SDGsの本質」というテーマに沿ってある程度伝えたいことができたのではないかと思います。最近ではSDGs関連の動きが活発化する一方で、本来の意味からという懸念を感じているのでも増えています。今回のイベントを通して、どのような活動が我々全員のために繋がるのか、より真剣に考えるべきだと強く感じました。そのためにも、より世界の知識を身につけ、広い視野を持てるよう努力しようと思っています。



○はるか
・秋田県
・高校2年生

このような本格的なイベントに運営側として携わる機会は少なかつたため、同世代のメンバーの積極性や運営力に大変刺激を受けました。私は今まで月経に関することを、特に男性がいる場で議論し出すことに抵抗がありました。しかし運営に携わって、男女問わず当たり前のようにこの問題解決に取り組む姿勢を目の当たりにし、これがSDGsの第一歩なのだを実感しました。男女理解に多少の差は生じるとしても、「ここにジェンダーの区切りは必要ないのだ」と思います。様々な形でSDGs



○みなみ
・東京都
・高校2年生

学生から大人まで幅広い世代が交流しながらSDGsに対する理解を深められたことが、今回のイベントの一番の収穫だったと思います。感想交流の際に、初めて会う大人の方と普段取り組んでいることなどを共有することができました。SDGsは「誰一人取り残さない」というメッセージを掲げているので、世代間で対立するのではなく、アイデアを交換し、一緒に未来への取り組みができる場がどんどん広まって行けばいいな

と感じました。

布ナフキンを作り、実際にケニアの女の子に届けているShihoさんの取り組みに感銘を受け、直接問題解決につながる必要があるので、今回参加することに決めました。また、Shihoさんから数ある選択肢から布ナフキンを選んだ理由等を聞いて、SDGs達成のためには、どんな解決策が効果的かをデータや人の気持ち等を考慮したうえで考えることが非常に大切であり、時間は限られているので、やみくもに行動するのではなく、目的意識した行動をとろうと思いました。

参加者の感想①

今回参加させていただき、買

物をする時にも、価格だけではなく、生産されていく環境、過程も考えなければいけないかと、考えさせられました。

また、「100スクール」などをとおして、SDGsを少しずつ理解していけたらと思います。

参加者の感想②

この会に参加させていただき、せっかく人が集まるお寺にいるのだから、何かできるのではと気持ちが変わりました。特にオーガニックコットンのお話や布ナフキンを必要としている国や人々がいること、現状を初めて知りショックを受けました。知る機会を作ってください感謝いたします。

■次は、12月27日(火)に開催される「みらいをつくる超・文化祭」に「SDGs for School x 曹洞禅」として出展する予定です。



今回のサマイベントの参加をきっかけに、11月に開催される曹洞宗婦人会田中研修会の研修としてSDGsを学び、布ナフキン作製プロジェクトへ参加していただくことになりました。読者のみなさんも、布ナフキン作製プロジェクトに参加したいという方がいらしゃいましたら、フォームよりご連絡ください。

